



編集後記

今年度は新型コロナウイルスに振り回された一年だった。特に春学期は学内の立ち入りが原則禁止され、授業もオンラインで行うこととなった。秋学期になって、オンラインと対面の両方で授業が行えるようになったが、それでも教員の負担は、例年よりも多かったといえるだろう。

そのような中で、今号も多くの論文が投稿されて、編集委員会としては感謝の念に絶えない。

昨年度刊行した紀要『社会科学研究』に誤字、記入漏れがあったのでここで訂正する。

P174 台湾研究部会 2019年10月21日に行われた研究会の報告者の名前は、正しくは、黄紹恒氏の誤りだった。

また、P177の出版のところで叢書の箇所が記されておらず、叢書46『<ロシア的なるもの>の探求』の誤りだった。

今後このような誤りがないように注意すると共に、謝意を表す。

編集委員委員長 渋谷 努

